



S Y L L A B U S

平成23年度高大連携授業

後期授業要目

(科目概要)

大学コンソーシアムあきた

## 目 次

No. 1～14までの科目は、大学コンソーシアムあきたのHPかモバイルサイトへ、高校生のあなたが

**直接お申込み**ください。

URL: モバイル <http://www.consortium-akita.jp/mobile/index.html>

ホームページ <http://www.consortium-akita.jp/>



1	哲学の問い方	(秋田大学)	1
2	保健医療・リハビリテーション入門	(秋田大学)	2
3	楽しく学ぶ数理意思決定入門	(秋田県立大学)	3
4	国際教養学への招待	(国際教養大学)	4
5	法律の面白さ、難しさ	(ノースアジア大学)	5
6	高校生のための経済学・経営学入門	(ノースアジア大学)	6
7	松尾芭蕉と奥の細道	(ノースアジア大学)	7
8	造形表現の基礎(素描)	(秋田公立美術工芸短期大学)	8
9	かたちづくる世界・パート2	(秋田公立美術工芸短期大学)	9
10	高校生のスポーツ栄養学	(聖霊女子短期大学)	10
11	倫理学はじめの一步	(聖霊女子短期大学)	11
12	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	12
13	暮らしを創る介護福祉とは	(日本赤十字秋田短期大学)	13
14	健康と栄養	(秋田栄養短期大学)	14

## 高校を通じて秋田大学への申込が必要な科目

以下の2科目は、単位取得予約型授業です。

○	秋田の地域理解と活性化	(秋田大学)	15
○	メンタルヘルスと自殺予防対策	(秋田大学)	16

※ 開講大学である<秋田大学>より県内各高校長あて(H23年8月30日付け秋大教推第367号)にお知らせを送付してあります。受講を希望される場合は担任の先生に相談してください。

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名	哲学の問い方 ～この現実を謎として経験すること～		科目	(学部・学科) 教育推進総合センター					
			担当者	(職・氏名) 教授 銭谷 秋生					
授業概要	この授業の目的は、哲学という学問がどのような探究を行なうものなのかを理解してもらい、他人に心があることをどうやって知るのかなどの代表的な哲学的問いを解きほぐしながら、説明していきます。								
授業方法と留意点	哲学の問いが生活の場から立ち上がってくる場面を押さえ、そこからどのように論理的に思考を進めていけばいいのかがよく分かるように、授業を展開します。哲学者の名前はほとんど出てきません。彼らを取り組んだ問題そのものを考えてみます。素朴な質問を歓迎します。								
授 業 計 画									
第1講：ガイダンスとして「哲学はどのような水準の問題を扱う学問なのか」ということを説明した後、最初の問題として「この現実がまるごと夢ではないとどうやって言えるのか」ということを考えます。									
第2講：「時間はどこを流れているのか」という問題を考えます。私たちは時計を見て時の経過を測りますが、考えてみれば、時計の針の移動は空間的な出来事ですね。これを私たちはなぜ時の経過として理解できるのでしょうか。これがテーマになります。									
第3講：「他人に心があることは知られるか」という問題を考えます。心は見ることも触ることもできないのに、私たちはお互いに「心ある」存在として接していますね。これは根拠のあることなのか、ということがテーマです。									
第4講：「正義」とは何かという問題を考えます。様々な歪みを抱えている現実の社会のただ中であって、誰もが納得できる「正義にかなった社会モデル」を構想する手立てを考えてみます。									
第5講：引き続き「正義」について考えます。「私の体は私のものだから、それを使って労働して成果があがれば、その成果はすべて私のものだ」という主張が正しければ、そこからどのような結論がでるか、というのがテーマです。									
第5講のみ11月10日 <b>木曜日</b> 17:30～19:00									
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。								
参考文献									
開講時期	後期	金曜日	17:30～19:00	開講日	10/7	10/14	10/21	10/28	11/10(木)
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

<input checked="" type="checkbox"/> 従来型授業 <input type="checkbox"/> 単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学						
科目名	保健医療・ リハビリテーション入門	科目	(学部・学科) 大学院医学系研究科 保健学専攻						
		担当者	(職・氏名) 助教 齊藤 明						
<b>授業概要</b> 看護，理学療法，作業療法について理解を深めるために，わかりやすく保健医療・リハビリテーションの場面を紹介しながら解説します。									
授業方法と留意点	第1講の授業では軽く体を動かしますので，動きやすい服装（ジャージ等）で受講してください。								
<b>授 業 計 画</b>									
第1講：11月2日(水) 「理学療法 ～体の動きを変えてみよう～」 保健学専攻 理学療法学講座 助教 齊藤 明									
第2講：11月9日(水) 「母性看護について」 保健学専攻 母子看護学講座 講師 保田 ひとみ									
第3講：11月16日(水) 「作業療法の世界をのぞいてみよう！」 保健学専攻 作業療法学講座 助教 津軽谷 恵									
テキスト	なし								
参考文献	なし								
開講時期	後期	水曜日	17:30～19:00	開講日	11/2	11/9	11/16		
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

秋田県立大学

科目名	楽しく学ぶ数理意思決定入門 ～高等学校で学んでいる数学はとても役に立っています～	科目	(学部・学科) システム科学技術学部 経営システム工学科
		担当者	(職・氏名) 准教授 星野 満博

**授業概要** 高等学校で学ぶ数学は、いろいろなところで役に立っています。高等学校で習う数学を用いて、大学で習う応用数学やオペレーションズ・リサーチの話をやさしく紹介します。確率と意思決定が主なテーマです。

**授業方法と留意点** 応用数学およびオペレーションズ・リサーチの内容で演習形式をとります。難しい理論もありますが、受講者が積極的に参加し、自ら計算することにより、楽しみながら数学を学ぶ意味を考えていただきます。コンピュータを用いた高度な計算も紹介します。

授 業 計 画

10月23日（日）

第1講 9:30～11:00 第2講 11:15～12:45 第3講 13:30～15:00

以下の2つのテーマの内容を3講（3回）の授業で解説いたします。

・ **テーマ1：不確実性を伴う数理意思決定問題**

あなたは、あるツアー（旅行）に参加します。家族に頼まれている特定のお土産をこれから巡る5箇所の観光地のどこかで買う必要があります。『そのお土産は、どこの観光地でも買うことができるので、できるだけ安い店で買いたいと考えている。ただし、それぞれの観光地での値段は現地に行くまでわからないし、ツアーでは戻ることができないので、買うか買わないかを訪れた観光地で即決しなければいけない。さあ、どうすれば、一番安いところで、買うことができるのでしょうか？（正確には、一番安いところで購入する確率を最大にするには、どのように作戦を立てればよいか）』このテーマは意外なところで、高度な数学へつながっています。以下、タイトルのみです。

詳細は、後日のお楽しみ。

・ **テーマ2：意思決定手法AHP あなたが、ほんとうにほしいものは、どれ？**

2つのテーマの内容を3回（時間）の授業で解説いたします。

コンピュータを用いた高度な計算も紹介します。

※文系理系問わず、高校1年生でも無理なく理解できます。

テキスト	プリントを配布します								
参考文献	特になし								
開講時期	後期	日曜日	9:30～15:00	開講日	10/23	10/23	10/23		
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	国際教養大学				
科目名	国際教養学への招待 ~Invitation to International Liberal Arts~		科目	(学部・学科) 国際教養学部					
			担当者	(職・氏名) 教授 イーゼン・リアン					
授業概要	「国際教養学とは何か」を、国際教養大学の教員グループがそれぞれの専門分野の最先端の研究成果を踏まえながら、高校生向けにわかりやすく講義します。世界を理解するうえで何が重要か、大学で「学問」することがいかに楽しいか、国際感覚を身につけるには高校時代から何をどう準備すべきかをいろいろな角度から指導します。								
授業方法と留意点	授業は、担当する教員によって、日本語あるいは英語で行います。生徒が事前に何かを準備する必要はありません。講義Q&A（質疑応答）を組み合わせ、全体として演習、ワークショップのような形を取っていきます。								
授 業 計 画									
第1講	「Rashomon」			Darren J. Ashmore准教授					
	映画「Rashomon」（邦題：羅生門）を教材として、作品中で描かれている「生きること」、極限状態におかれた人間の「善」と「悪」について考えます。（講義は英語で行います）								
第2講	「英語のリズムについて学んでみよう」			町田 智久講師					
	英語の発音やリズムは、日本語と違って難しいと思いませんか？この授業では、リズム・ストレス・イントネーションなどを手掛かりに、英語のリズムについて学んでいきます。（講義は英語で行います）								
第3講	「日中関係 一体その何が問題なのか？『歴史認識』を一例に」			水野 智仁准教授					
	みなさんは昨今の日中関係をどのように見ているのでしょうか。最近の「新幹線」問題をはじめ、両国間には実にさまざまな問題が横たわっています。本講座では「歴史認識問題」に焦点を当て「問題」の具体的内容を理解するとともに、解決の糸口を探っていきます。（講義は日本語で行います）								
第4講	「Speaking Fluency, Sound System, & Vocabulary Learning」			逸見 洋二郎講師					
	「単語や文法は結構知っているのに、いざとなると英語が出てこない」「質問されると『Yes』『No』だけで会話が終わってしまう」そんな経験はありませんか？本講座では、これまで皆さんがインプットしてきた「英語の知識」を繰り返してアウトプットすることで「使える英語」に変えていきます。授業はペアワークで行います。仲の良い友達と参加してください。（講義は日本語・英語で行います）								
第5講	「Sailing and the Liberal Arts」			Yi-Zheng Lian教授					
	今年5月に香港-秋田間4,100kmを帆船で渡った体験談を、物理学、生物学、地理、歴史、気象学などを交えて紹介します。体験を通して学ぶことの楽しさを考えましょう。（講義は英語で行います）								
テキスト	Ashmore准教授の授業の前に「Rashomon」を見ておくこと。カレッジプラザ内AIUサテライトセンターに用意します。								
参考文献									
開講時期	後期	土曜日13:30~15:00		開講日	10/15	10/22	10/29	11/6(日)	11/12
関連科目		11/6のみ日曜 時間は同じ		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

ノースアジア大学

科目名	法律の面白さ、難しさ ～法文化，法政策も視野に入れて～	科目 担当者	(学部・学科) 法律学科  (職・氏名) 教授 渡部 毅					
授業概要	「法律」の話というと非常に堅苦しく，とっつきにくいといったイメージがあるかもしれませんが，一見すると変な法律や判決が，実は先人たちの知恵の結晶だったり，意外と楽しめます。そんな楽しさに触れながら，法律学の真髄に接してみましよう。							
授業方法 と留意点	本学の5人の専任教員によるオムニバス講義です。事前の準備等は特に必要ありませんが，ノート，筆記用具を持参してください。							
授 業 計 画								
第1講	： 11月 7日（月）	民法	担当	： 中里 真				
第2講	： 11月 8日（火）	憲法	担当	： 渡部 毅				
第3講	： 11月 9日（水）	商法	担当	： 國井 法夫				
第4講	： 11月10日（木）	裁判法	担当	： 川口 誠				
第5講	： 11月11日（金）	刑事政策	担当	： 中條 晋一郎				
テキスト	プリントなどを配布します。							
参考文献	特になし。							
開講時期	後期	17:30～19:00	開講日	11/7(月)	11/8(火)	11/9(水)	11/10(木)	11/11(金)
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	ノースアジア大学			
科目名	高校生のための経済学・ 経営学入門 ～深まる秋の経済教室～	科目	(学部・学科) 経済学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 白川 欽哉					
<b>授業概要</b> 経済学や経営学は、私たちの日常を見つめなおし、豊かな生活に変えていくためのヒントを与えてくれます。政経や現社の勉強を深めたい、大学で詳しく学ぶための準備をしたい、という方は、是非とも受講しましょう。								
<b>授業方法と留意点</b> 経済学・経営学の理論、実践、歴史という3つの柱を念頭に、一話完結の講義を、オムニバス形式で実施します。今回の授業シリーズの終わりに、講義の感想や今後聞いてみたい経済・経営のテーマ、トピック等についてアンケートをとります。								
<b>授 業 計 画</b>								
<b>第1講：「なぜイギリスは、18世紀に世界のナンバー1になれたのか」</b> （白川 欽哉） イギリスで産業革命が起き、のちに経済大国になった、という話は良く知られていることでしょう。しかし、その背景にはイギリス固有の歴史的事情もあったのです。経済の観点から世界史を読み解く。これが今回の授業の狙いです。								
<b>第2講：「ゲーム理論入門 戦略的に考えてみよう！」</b> （河合 伸治） ゲーム理論は現実社会のさまざまな場面において、合理的な個人がどのように考え、その結果どのような結果が生じるかについて分析する学問です。合理的な個々人の判断が思わぬ結果を招く「囚人のジレンマ」など様々なトピックを扱う予定です。								
<b>第3講：「自動車保険会社はスポーツカーとポンコツカーのどっちを勧誘する？」</b> （山本 俊） 「あなたのことを最もよく理解しているのは誰ですか？」。授業はこの質問からスタートし、自動車保険などを通じて、モラル・ハザード（道徳崩壊）やアドバース・セレクション（逆選択）のメカニズムを学びます。								
<b>第4講：「家計のファイナル・ウェポン～キャッシュフロー計算書を作って、破綻しない家計を目指そう～」</b> （海老川 寿美夫） 病院、水道、鉄道などの公営企業も作成を義務付けられるキャッシュフロー経営の免許皆伝を伝授します。								
<b>第5講：「仕事における満足と不満足」</b> （松永 州正） どうすれば従業員の満足度が高まるのだろうか。給与の改善は、彼らを満足させるのだろうか。従業員が仕事を通じて、満足を感じる要因と不満足を感じる要因は異なる。このことを手掛かりに、管理のあり方を考えたい。								
<b>第6講：「坂本竜馬がつくった会社」</b> （國井 法夫） 去年のNHK大河ドラマの主人公であった坂本龍馬は、江戸時代末期に、長崎で「亀山社中」という会社をつくりました。授業ではこの会社の仕事内容や組織について、幕末から明治初期に誕生するその他の会社の話を交えて解説いたします。								
テキスト	資料を配付します							
参考文献	特になし。講義中に、高校生にも読んでほしい本を紹介します。							
開講時期	金曜日 17:30～19:00	開講日	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11
関連科目	財政学、国際経済学他	会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

ノースアジア大学

科目名	松尾芭蕉と奥の細道	科目	(学部・学科) 教養部					
		担当者	(職・氏名) 教授 花田 富二夫					
授業概要	元禄2年3月末に出発した、芭蕉の第3次俳諧旅行『奥の細道』の文章をたどりつつ、東北の風土や芭蕉俳文の魅力について学びます。							
授業方法と留意点	<p>日本文学の金字塔と言える『奥の細道』は、豊かな東北の風土と密接に関係しています。さらに、この作品は決して事実の紀行文ではなく、芭蕉の創作性にもあふれています。作品の持つ詩情と文芸性に着目しながら、「東北の旅」を行いましょ。う。</p> <p>ときには、ビデオの鑑賞も含みます。また、芭蕉自筆本と言われるものも紹介しつつ、芭蕉の筆跡もながめてみましょう。</p>							
授 業 計 画								
第1講：	10月26日（水）	芭蕉と奥の細道説 奥の細道 鑑賞 ① 出発・日光・那須野・殺生石・白河の関						
第2講：	11月 2日（水）	奥の細道 鑑賞 ② もち摺・仙台・壺碑・松島						
第3講：	11月 9日（水）	奥の細道 鑑賞 ③ 高館・平泉・尿前・立石寺・最上川						
第4講：	11月16日（水）	奥の細道 鑑賞 ④ 羽黒三山・象潟・遊女・金沢～大垣（終章） まとめ						
※すべての授業でビデオも使用します（15分～30分）								
テキスト	プリントを用意します							
参考文献	講義中に紹介します。各自で自由に選んでください。							
開講時期	後期	水曜日	17:30～19:00	開講日	10/26	11/2	11/9	11/16
関連科目	日本文化・東北学			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名 秋田公立美術工芸短期大学

科目名	造形表現の基礎（素描）	科目	(学部・学科) 工芸美術学科					
		担当者	(職・氏名) 学科長 松本 研一					
授業概要	造形表現の基礎となる素描について、実技形式の授業のなかで解説・指導を行う。							
授業方法 と留意点	主に1, 2年生を対象にした実技形式の授業。 受講生は、鉛筆デッサン用具を各自持参。 ①鉛筆（2H、H、F、HB、B、2B、3B、4B） ②消しゴムと練り消しゴム ③カッター等鉛筆削り具							
授 業 計 画								
第1講	12月10日（土）13:30～15:00		准教授		芝山 昌也			
タイトル:	静物デッサン ～構図のイロハ～							
内 容:	モチーフ2, 3点で何パターンかの構図を試み、良い構図を探っていく。							
会 場:	秋田公立美術工芸短期大学							
第2講	12月11日（日）13:30～15:00		教授		鈴木 司			
タイトル:	デッサンのこつ							
内 容:	1枚、モチーフのレタリング部分等をデッサンする。同じモチーフを説明後、デッサンし、実技指導する。							
会 場:	カレッジプラザ							
第3講	12月11日（日）15:10～16:40		教授		鈴木 司			
タイトル:	デッサンのこつ							
内 容:	第2講に引き続き、デッサンし、実技指導する。							
会 場:	カレッジプラザ							
テキスト								
参考文献								
開講時期	後期	土曜日13:30～15:00	開講日	12/10	12/11	12/11		
関連科目		日曜日13:30～16:40	会 場	美短	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

秋田公立美術工芸短期大学

科目名	かたちづくる世界・パート2	科目	(学部・学科) 産業デザイン学科
	～デザインの思考と表現～		担当者

**授業概要** デザインの意味や目的について考察し、デザインの考え方、表現の方法、専門分野授業概要など、デザインを理解するための基礎的な学習を行う。情報、平面、立体、空間のそれぞれにおけるデザインの特徴、概要を解説し、人との関わりを考察する契機とする。デザイン分野に共通な「考えること、人に伝えること」の重要性を学ぶ。

**授業方法と留意点** 授業はオムニバス形式で、下記担当者によるリレー形式の講義。  
第1講、第2講は秋田公立美術工芸短期大学にて行います。

授 業 計 画

- 第1講 10月8日(土) 13:30～15:00 准教授 コン ジンヨル  
タイトル:「**パッケージデザインとは何か?**」  
内 容: パッケージデザインの機能と形について考察します。また、身近なデザインの事例を取り上げ、裏話を紹介します。簡単な演習も行います。
- 第2講 10月8日(土) 15:15～16:45 准教授 石垣 充  
タイトル:「**くらしのカタについて**」  
内 容: 様々な時代の住の図面を例にあげ、社会と生活様式の変遷について読み解きます。簡単な演習も行う予定です。
- 第3講 10月15日(土) 13:30～15:00 助 教 菅原 香織  
タイトル:「**公共のデザインを考える**」  
内 容: 高齢者や妊婦の疑似体験を通して、少子高齢社会のまちづくり・モノづくりについて考えます。
- 第4講 10月22日(土) 13:30～15:00 教 授 五十嵐 潤  
タイトル:「**プロダクトデザインの仕事**」  
内 容: 身近なデザインの事例から暮らしの中での人とモノの関係について考察し、プロダクトデザインの視点や仕事の内容について解説します。
- 第5講 10月22日(土) 15:15～16:45 教 授 渡邊 有一  
タイトル:「**デザイン計画とは何か?**」  
内 容: ちょっとわかりにくい「デザイン計画」について、美短の授業内容と成果を見せながら解説します。最後に、本講座の総括を簡単に述べます。

テキスト									
参考文献									
開講時期	後期	土曜日	13:30～16:45	開講日	10/8	10/8	10/15	10/22	10/22
関連科目			10/15のみ13:30～15:00	会場	美 短	美 短	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	聖霊女子短期大学				
科目名	高校生のスポーツ栄養学 ～運動部マネージャーに必要な基礎知識～	科目	(学部・学科) 生活文化科						
		担当者	(職・氏名) 講師 大野 智子						
授業概要 運動部に所属する高校生に必要な栄養・食事の管理について理解し、実践できる力を養うことを目標とします。									
授業方法と留意点	運動部マネージャーに限らず、スポーツ栄養学に興味がある方ならば男女問わず受講可能です。将来管理栄養士を目指している方も歓迎します。								
授 業 計 画									
第1講： 栄養学とは[講義] 講師 大野 智子 食品に含まれる栄養素の働き、人体における消化・吸収など栄養学の基礎を学びましょう。									
第2講： 高校生のスポーツ栄養学[講義] 講師 大野 智子 スポーツ栄養学とは？競技力向上のために必要な栄養学の知識を深めましょう。									
第3講： 栄養サポートの実践[演習] 講師 大野 智子 1日に必要なエネルギー量とは？その食事内容で大丈夫？食の自己管理ができる選手を育てるための栄養サポート内容について理解しましょう。									
第4講： 選手を支える食事 ～合宿で使える簡単メニュー～ [実習] 講師 大野 智子 食品の特性を理解し、食事設計のコツを覚えましょう。 助手 豊嶋瑠美子									
第5講： 選手を支える食事 ～合宿で使える簡単メニュー～ [実習] 講師 大野 智子 栄養バランスのよい食事とは？ 助手 豊嶋瑠美子 実際に調理，試食して評価してみましょう。 11月5日（土）のみ13:30～16:45									
テキスト	プリントを配布する。								
参考文献	授業時に紹介します。								
開講時期	後期	土曜日	13:30～15:00	開講日	10/15	10/22	10/29	11/5	11/5
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	聖霊短大	聖霊短大

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

<input checked="" type="checkbox"/> 従来型授業 <input type="checkbox"/> 単位取得予約型授業		大学等名	聖霊女子短期大学						
科目名	倫理学はじめの一步 ～「正しく」生きることとは？～	科目	(学部・学科) 生活文化科						
		担当者	(職・氏名) 教授 御子神 隆也						
<b>授業概要</b> 倫理学の主題は、正義、善の問題であり、これらは私たちの生活や社会と密接に関わっている。このことを「自由と責任」「法律」「生命の尊厳」「男女の性」「戦争と平和」を話題として気づかせ、「正義」の意味について考えさせる。									
<b>授業方法と留意点</b> 高校生が理解しやすいように、抽象的な説明を極力避け、生活や社会の具体的事例を題材に倫理の問題を平易な言葉で取り上げる。例えば「自由とルールの関係」「命を選別する出生前診断」「なぜ援助交際はいけないのか」など。内容は、講義と質疑応答を織り交ぜて進める。									
<b>授 業 計 画</b>									
<b>第1講 自由と責任</b> ：人間は本来自由な存在だが、それは何をしてもいいということではない。人間には、していいことといけないことがある。このことから、自由とはどのようなことかを考える。									
<b>第2講 法律と倫理の関係</b> ：公的規律である法律は、倫理/道徳とどのような関係にあるか。法律を定める議会の多数決は、必ず正義を実現するのか、正義は法律に基づくのか、を考える。									
<b>第3講 命の尊さ</b> ：人は、命の尊さを言う一方で、人の命を選別しようとする。それをよく表すのは、出生前診断→人工妊娠中絶の促進というケースである。この倫理的問題を考察する。									
<b>第4講 人間にとって性とは何か</b> ：男女の性的関係性は、単に本能的な情動の結果に過ぎないものではない。人間はただの動物と異なり、人格として、人格である異性を愛する。この人格的性について考える。									
<b>第5講 国家・民族の対立は終わらないのか</b> ：中東では長年民族抗争が続いている。その原因は何か。人類の歴史は戦争の歴史でもある。なぜ人間は戦いをやめないのか。困難な問いだが、平和憲法（第9条）の問題と並行して考える。									
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配布する								
参考文献	なし								
開講時期	後期	水曜日	17:30～19:00	開講日	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16
関連科目	哲学			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	日本赤十字秋田看護大学				
科目名	高校生のための看護学入門 ～「生きる」を支える人になる～		科目	(学部・学科) 看護学部 看護学科					
			担当者	(職・氏名) 教授 宮堀 真澄					
授業概要	各専門領域（成人看護学，母性看護学，老年看護学，精神看護学，小児看護学）の看護やその活動を紹介することで，看護のこころ，ケアについて理解と関心を深める。								
授業方法と留意点	・オムニバス方式で下記担当者がリレー形式で講義をすすめます。 ・全ての講義はカレッジプラザにて行います。 *11月6日（日）は，昼食を持参してください。								
授 業 計 画									
第1講	10月29日（土）	13：30～15：00	高校生のための成人看護学 手術を受ける人の看護 担当：准教授 磯崎 富美子 助教 荻原 麻紀						
第2講	10月29日（土）	15：15～16：45	高校生のための母性看護学 高校生の健康について 担当：教授 伊藤 榮子						
第3講	11月6日（日）	9：30～11：00	高校生のための精神看護学 心のケアの看護学 担当：講師 宇佐美 覚						
第4講	11月6日（日）	11：15～12：45	高校生のための小児看護学 子どもの成長発達に応じた事故の予防 担当：講師 大高 恵美						
第5講	11月6日（日）	13：30～15：00	高校生のための老年看護学 高齢者の理解とケア 担当：助教 佐藤 美恵子						
テキスト	プリントを配布します								
参考文献	講義中に適宜紹介します								
開講時期	後期	土曜日13：30～16：45		開講日	10/29	10/29	11/6	11/6	11/6
関連科目		日曜日09：30～15：00		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

<input checked="" type="checkbox"/> 従来型授業 <input type="checkbox"/> 単位取得予約型授業		大学等名	日本赤十字秋田短期大学				
科目名	暮らしを創る介護福祉とは ～「生きる」を支える人になる～	科目	(学部・学科) 介護福祉学科				
		担当者	(職・氏名) 講師 高橋 謙一				
授業概要	暮らしと介護福祉、人を支える意味について理解します。						
授業方法と留意点	高等学校での社会福祉に関する学びを基礎に、介護福祉について講義とグループワークで理解を深めます。						
授 業 計 画							
第1講	11月19日（土） 13:00～14:30	教授	三浦	正樹			
	人間の尊厳を支える介護福祉活動とは						
第2講	11月19日（土） 14:45～16:15	講師	高橋	謙一			
	その人らしさを支える介護者の視点						
会 場	この授業は、秋田大学横手分校を会場に開講します。 住所 〒013-0036 横手市駅前町1-21 Y <sup>2</sup> (わいわい) ふらざ3F 電話 0182-38-8304 FAX 0182-32-4056						
テキスト	なし						
参考文献	講義中に適宜紹介します						
開講時期	後期	土曜日集中13:00～16:15	開講日	11/19	11/19		
関連科目			会 場	横手市	横手市		

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

秋田栄養短期大学

科目名	健康と栄養	科目	(学部・学科) 栄養学科						
		担当者	(職・氏名) 教授 廣川 忠男						
授業概要	日常の食事の摂り方は直接的・間接的に私たちの健康と密接な関わりをもっています。本講では、食の安全、食事の習慣と健康や疾患との関係、疾病が起こる原因等について分かりやすく解説します。								
授業方法と留意点	5つのテーマについて5人の講師がそれぞれ講義していく形式をとります。 講義テーマおよび担当者については、下記の授業計画をご覧ください。								
<b>授 業 計 画</b>									
第1講	10月9日(日)	9:30~11:00	「体液浸透圧のはなし」(廣川 忠男)						
体液の浸透圧は一定の状態に維持されており、高すぎても低すぎても健康に影響が出てきます。講義では、体液の浸透圧の維持機構について解説しながら浸透圧について考えてみたいと思います。									
第2講	10月9日(日)	11:15~12:45	「栄養素の過不足が招く疾患」(伊藤 恵)						
各栄養素の不足または過剰の状態を栄養欠陥といいます。どのような栄養素の過不足が、どのような疾患を招くのかを説明します。									
第3講	10月16日(日)	9:30~11:00	「メタボリックシンドロームって何？」(佐藤 実)						
現在、問題になっているメタボリックシンドロームについて、その原因である肥満の種類や指標、病態、診断基準、食事や運動による予防改善を解説します。									
第4講	10月23日(日)	9:30~11:00	「丈夫な骨をつくろう」(伊藤 千夏)						
骨粗鬆症という病気を知っていますか？骨粗鬆症を予防するには、成長期の過ごし方がとても大切です。丈夫な骨をつくる「栄養・運動・休養」についてお話ししたいと思います。									
第5講	10月23日(日)	11:15~12:45	「安全な農業へ！ 現代農業の進歩にせまる」 (外城 寿哉)						
過去に農薬による健康被害が指摘されていた時代がありました。現代日本の農業ではこういった問題をどのように克服し、安全な農作物を生産できるようになってきたのか、その歴史と現状をお話ししましょう。									
テキスト	テキストは用いません。必要に応じて講義ごとにプリントを配布して進めます。								
参考文献	各講義の中で適宜紹介します。								
開講時期	後期	日曜	9:30~12:45	開講日	10/9	10/9	10/16	10/23	10/23
関連科目	食品学, 食品衛生学, 栄養学他			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

□従来型授業		■単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名	秋田の地域理解と活性化 ～秋田戦略学Ⅱ～		科目	(学部・学科) 教育推進総合センター 教育推進主管					
			担当者	(職・氏名) 川東 雅樹					
授業概要	秋田を元気にしていくためにまずは秋田という地域をよく理解すること、つまり、他地域にはない特徴や良い面に気づき、それを伸ばしていく方策を考えていきます。若者らしい豊かな発想を持って集まってください。多彩な専門分野の講師陣と秋田を元気にする手立てについて考えてみませんか？								
授業方針	教員からの一方向の情報提供にとどまらず、教員と学生（生徒）、学生（生徒）間での議論や対話を重要視します。								
と留意点	学生（生徒）の皆さんに身近なテーマを取り上げる予定ですので積極的に参加してください。 単位取得希望者については、6回以上の出席がない場合は成績評価の対象としません。								
<b>授 業 計 画</b>									
<p>「秋田戦略学」は、秋田の高等教育機関に所属する研究者が連携し、地域ならではの課題を学術的な研究や調査に基づいて考察するものです。秋田という地域が抱える課題を発見し、それぞれの課題解決の方策や展望について教員と学生がともに考えていきます。特にこの授業では、課題解決へのアプローチを特定の学問分野に限定せず、理系・文系という二分法を乗り越えて様々な観点から考察することを特徴としています。</p> <p>▼授業内容（順番は仮のもので、第1講の際にお知らせします）</p> <p>▼科目コーディネーター 勝又美智雄（国際教養大学・教授，図書館長）</p> <p>第1講 授業の総論（担当：勝又） 第2講 中心市街地のにぎわい創出（担当：島屋）          第3講 中心市街地の観光資源（担当：井上） 第4講 内陸線沿線の観光資源（担当：渡部）          第5講 地域におけるアートの役割（担当：芝山） 第6講 秋田の都市景観を考える（担当：恒松）          第7講 デザインから見た建物と景観（担当：石井） 第8講 授業のまとめ（担当：林）</p> <p style="text-align: right;">休日を利用した特別講義 秋田市内観察（担当：島屋）</p> <p>▼授業形態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各回で採用する授業方法は主に講義形式で、これに学生（生徒）による調査、討議、報告等も加えていきます。</li> <li>複数の機関の教員で授業を担当します。</li> </ul> <p>▼到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域が抱えている課題の構造を図や表を用いて表現することができる。</li> <li>地域が抱えている課題の今後の展望について、自分なりの考えを文章にすることができる。</li> <li>秋田という地域が発展していくための作戦を述べるすることができる。</li> </ul>									
評価方法	各回に、到達目標に応じた小レポートを課します。また、最終試験としてレポートを課す予定です。								
テキスト	指定しません。			開講日	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10
参考文献	各回に紹介します。			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	後期	木曜日 18:00～20:00		開講日	11/17	11/24	12/1	休日半日	
関連科目	小レポート記載時間を含む			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	秋田市内	

平成23年度高大連携授業＜後期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

□従来型授業

■単位取得予約型授業

大学等名

秋田大学

<b>科目名</b>	メンタルヘルスと自殺予防対策 ～秋田戦略学V～	<b>科目 担当者</b>	(学部・学科) 教育推進総合センター 教育推進主管 (職・氏名) 川東 雅樹
------------	----------------------------	-------------------	--

**授業概要** 精神の健康に関わる課題を人間の発達段階に応じて論じ、また自殺をいかに予防するかについて考えていきます。

**授業方法  
と留意点** 教員からの一方向の情報提供にとどまらず、教員と学生（生徒）、学生（生徒）間での議論や対話を重要視します。  
学生（生徒）の皆さんに身近なテーマを取り上げる予定ですので積極的に参加してください。  
単位取得希望者については、6回以上の出席がない場合は成績評価の対象としません。

授 業 計 画

「秋田戦略学」は、秋田の高等教育機関に所属する研究者が連携し、地域ならではの課題を学術的な研究や調査に基づいて考察するものです。秋田という地域が抱える課題を発見し、それぞれの課題解決の方策や展望について教員と学生がともに考えていきます。特にこの授業では、課題解決へのアプローチを特定の学問分野に限定せず、理系・文系という二分法を乗り越えて様々な観点から考察することを特徴としています。

▼授業内容（順番は仮のもので、第1講の際にお知らせします）

▼科目コーディネーター 佐々木久長（秋田大学医学系研究科保健学専攻・准教授）

- 第1講 授業の総論（担当：佐々木） 第2講 地域づくりと自殺予防対策（担当：未定）  
第3講 心を大切にする生活について（担当：猪股） 第4講 地域高齢者の生活とメンタルヘルス（担当：小坂）  
第5講 成人期のメンタルヘルス（担当：牟田） 第6講 身体の健康とメンタルヘルス（担当：重川）  
第7講 子どもの心とメンタルヘルス（担当：国枝） 第8講 授業のまとめ（担当：煙山・佐々木）

▼授業形態

- ・各回で採用する授業方法は主に講義形式で、これに学生（生徒）による調査、討議、報告等も加えていきます。
- ・複数の機関の教員で授業を担当します。

▼到達目標

- ・地域が抱えている課題の構造を図や表を用いて表現することができる。
- ・地域が抱えている課題の今後の展望について、自分なりの考えを文章にすることができる。
- ・秋田という地域が発展していくための作戦を述べるができる。

**評価方法** 各回に、到達目標に応じた小レポートを課します。また、最終試験としてレポートを課す予定です。

<b>テキスト</b>	指定しません。	<b>開講日</b>	12/8	12/15	12/22	1/19	1/26
<b>参考文献</b>	各回に紹介します。	<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
<b>開講時期</b>	後期	木曜日 18:00～20:00	<b>開講日</b>	2/2	2/9	2/16	
<b>関連科目</b>		小レポート記載時間を含む	<b>会場</b>	カレッジプラザ	カレッジプラ	カレッジプラザ	